



平成 25 年 5 月 31 日

各 位

会 社 名 リケンテクノス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清水 浩  
(コード番号 4220 東証第1部)  
問合せ先  
取締役経営企画室長 熊埜御堂 真  
(TEL. 03-3663-7991 )

2013 年度～2015 年度  
新中期経営計画「Dimensional Change」について

当社は、2013 年度～2015 年度にかけての新中期経営計画「Dimensional Change」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画「Dimensional Change」の概要

新中期経営計画は、従来の延長線上ではなく次元を変えた取り組みを行なうこと「Dimensional Change ～グローバル、更なるスピードアップ～」を経営方針といたしました。  
国内外の経営環境が変化する中で、技術・製造・営業が一体となり、従来以上のスピードをもってグローバル展開をはかってまいります。

2. 計数目標

最終年度（2016 年 3 月期）の連結目標数値を、売上高 1,000 億円、経常利益 70 億円とします。

(金額：億円)

	2013 年 3 月期	2016 年 3 月期目標
売上高	735	1,000
経常利益	22	70

3. 計数指標目標

最終年度（2016 年 3 月期）に目標とする経営指標は

ROS（売上高経常利益率）	7%
ROA（総資本経常利益率）	10%
ROE（株主資本純利益率）	10%

#### 4. 新中期経営計画の主要課題

- 1) コンパウンド事業の更なるグローバル展開  
世界トップクラスのグローバルネットワークを確立
- 2) フィルム事業の抜本的な立て直し  
赤字解消策の断行と高機能製品開発への集中投資
- 3) ソリューション事業の事業化実現  
社内ベンチャーとして立上げたソリューション事業のビジネスモデルの確立と事業化の実現
- 4) 最適な営業推進体制の構築  
マーケットインの方向性を明確にした、営業推進体制を構築し、ビジネスユニット制の順次導入
- 5) 徹底した人材育成  
グローバル戦略を担う人材の育成

#### 5. 主要セグメント別戦略

- 1) コンパウンド事業  
エラストマーの国内市場拡大と海外生産の拡大  
生産拠点の拡充と国内生産体制の最適化
- 2) フィルム事業  
海外生産の実現と海外市場への拡販  
高付加価値機能フィルムへの経営資源集中による開発と上市場
- 3) 食品包材事業  
昨年10月に行なった事業統合のシナジー効果の早期実現  
中国事業との連携、販売チャネルの多さと、ラップ2ブランドの活用による拡販

#### 6. 最重点市場の開拓

次の2つの分野を最重点市場と位置付け、製品、事業部の枠を超え集中対応いたします。

##### 1) 自動車分野

###### コンパウンド

日本、北米、アジアの3拠点でのグローバル対応  
日系自動車メーカーから全自動車メーカーへの展開

###### フィルム

高意匠、高機能フィルムの上市。電材用フィルムの拡販

##### 2) 医療・ヘルスケア分野

###### コンパウンド

日本、タイ、インドネシアの3拠点でのグローバル対応

###### フィルム

マーケティングによる新市場参入

以 上